

参加者が持参した化粧品を用いて、講師がメイクアップの技法を伝授（8月21日、本店）



メイク講座開催

女性18人が参加

東日本銀行

東日本銀行は8月21日、本店で「好印象を与えるメイク講座」をお客さまから確実な信頼を得るためのメイクアップ術を初めて開いた。知的、クールなど各自の「なりたい自分」に近づくためのメイク技法を学んだ。

自主勉強会「常設学校」として業務終了後に開催した。「『お客さまの大切な資産を預かる』という職務にふさわしい印象になるため『信頼感』『安心感』を持たれる」のが目的。

営業店3人と横浜銀行を含む18人の女性行員が参加した。講師は「岩井式メイクセラピスト」の富田里恵子氏。最初に、身だしなみなど視覚情報の大切さや「丸顔」「面長」など顔のタイプを学習し、「なりたい自分」を目指して顔のイラストに眉やチークを色付けした。それをもとに、講師がメイク術を実習。顔の半分だけに化粧を施す「半顔メイク」で効果を分かりやすく説明していた。

事務局役の東日本銀行営業企画部の塩入彩子グループ長は「自分に合ったメイクを学んでもらい、モチベーションアップにつなげた」としている。